

令和4年度 学校推薦型選抜 I

小論文(英文)問題用紙

次の課題文を読み、問1と問2について日本語で答えなさい。

課題文 A guide to preventing and addressing social stigma

日本語訳

保健医療に関する社会的汚名(不名誉)とは、ある特定の特徴をもつ個人や集団をある特定の病気と否定的に関連付けることである。感染症流行時には、特定の人々が疾患と直感的に結びつけられることによって、レッテルを張られ、固定観念を持たれ、差別を受け、疎外され、その社会的地位が損なわれることとなります。

このような扱いは、疾患を抱える人々だけでなく、介護者、家族、友人、地域社会にも悪影響を与える可能性があります。病気ではないのに、スティグマの対象となる集団と関連する特徴をもつ人々も、社会的汚名に悩まされる可能性があります。

現在の COVID-19 の流行は、特定の民族的背景を持つ人々に留まらず、ウイルスに接触したと思われる人に対しても、社会的スティグマや差別的な行動を引き起こしています。

COVID-19に関連したスティグマのレベルは、主に以下の3つの要因に基づいています。1) 新しい、未だ不明な点が多い疾患であるということ 2) 私たちはしばしば未知のものを恐れるということ 3) その恐怖を「他者」と関連付けるのは容易であるということです。一般の人々の間に混乱、不安、恐れがあることは理解できることですが、残念なことに、これらの要因が有害な固定観念を形成することに拍車をかけています。

社会的汚名は、社会的結束を弱め、特定の集団の社会的孤立を促進し得ます。これにより、ウイルスが広がりやすくなる状況に寄与する可能性があり、その結果、より深刻な保健課題が引き起こされ、感染症の流行を制御することがより困難になる可能性があります。社会的汚名は、1) 差別を避けるために疾患を隠すよう人々を駆り立て、2) 人々がすぐに医療を受けることを阻害し、3) 人々が健康的な行動をとる意欲を損なわせます。

これまでの研究で、伝染病に関するスティグマと恐怖が対応を妨げることが明らかになっています。信頼できる医療サービスや推奨事項に対する信頼を築き、影響を受けた人に共感を示し、疾患そのものを理解し、人々が自身や家族の安全を保つために効果的で実用的な手段を採用することが効果的です。病気と闘い、恐怖やスティグマに拍車をかけるのを防ぐための効果的な行動を人々が取れるよう支援するには、COVID-19 についてどのように伝えるかが重要です。病気やその影響を、オープンに、正直に、効果的に議論し、対処できる環境を作る必要があります。

模範解答

設問 1. 感染症流行時に「Social stigma in the context of health」を関連づけられた人々が、具体的に被ることを箇条書きで5つ、日本語で答えなさい。

- ①レッテルを張られ、
- ②固定観念を持たれること、
- ③差別を受けること、
- ④疎外されること、
- ⑤社会的地位が損なわれること

設問 2. COVID-19 流行下に「Social stigma in the context of health」が社会に及ぼす影響を簡潔に日本語で述べなさい。

- ⑥社会的結束を弱め、
- ⑦特定集団の社会的孤立を促進し得る。
この不名誉によって起こる孤立を避けるために、
- ⑧人々は感染を隠し、
- ⑨すぐに医療を受けることを阻害し、
- ⑩健康的な行動をとる意欲を損なう。
これにより、
- ⑪ウイルス が広がりやすくなる状況に寄与する可能性
- ⑫より深刻な保健課題が引き起こされ、
- ⑬感染症の流行を制御することがより困難になる可能性がある。

社会的汚名は、社会的結束を弱め、特定集団の社会的孤立を促進する可能性がある。この孤立を避けるために、感染を隠しすぐに受診しなくなり、健康的な行動をとる意欲を損なうように人々を導く。その結果、ウイルスが広がりやすくなり、より深刻な保健課題が引き起こされ、感染症の流行を制御することがより困難になる可能性がある。

設問 3. 「Social stigma」に対する予防法と対処法について、自分の考えを 450 字以上 500 字以内で、日本語で述べなさい。

模範解答 1. 医療者や行政の視点から

COVID-19 流行時に発生する社会的汚名は、感染者だけでなく介護者、家族、友人にも着せられる。これらの人々は疎外され、地域社会も悪影響を受ける。この汚名が着せられる背景には、未知の疾患に対する不安や恐怖が存在する。これらの要因が有害な固定観念を形成することに拍車をかける。一方で、汚名で起こる孤立を避けるため、感染を隠し受診を避けさらに蔓延するという悪循環がおこる。この恐怖が発生しないように、COVID-19 についての正しい知識を適切な言葉でどのように伝えるかが最も重要である。具体的には、行政と医療者の間で、正しい知識を更新共有し続け、効果的に議論し対処できる環境づくりがまず必要である。個人に伝える際には、不安や恐怖を生まないように対象者に寄り添い、すべきことやすべきでないことなどを具体的にわかりやすく説明することが重要である。マスク着用や手洗い・三密を避けるといった感染予防対策を啓発するのは当然だが、ワクチン接種・ワクチン接種後の後遺症・変異株によるパンデミック・ブレークスルー感染と新たな問題とそれに伴う人々の不安に立ち向かう組織づくりと個々の対処の継続も必要である。

(499 字-4 字×2 484 字 ; COVID-19 8→4 字)

模範解答 2. 個人を中心とした視点から、医療者や行政ができること

COVID-19 感染拡大初期の段階では感染者、次に COVID-19 の医療にかかわる人々、蔓延した現段階では感染源のレッテルを張られたアジア人へ、偏見の目が向けられ、社会問題となってきた。未知の疾患に対する恐怖や不安が契機となり、感染予防・診断・ワクチン・治療薬に関する不確実な誤情報が流布され、偏見と混乱へ人々を陥れてきたからである。課題文の汚名を防ぐには、上記のような差別や感染症の恐怖を煽るような情報と伝え方は避け、正しい知識をわかりやすく伝えるよう配慮し、社会的孤立者を産まない努力が必要である。医療関係者、行政、マスメディアは社会に向けて、COVID-19 に関連する支持的行動を示しながら、計画的かつ思慮深くふるまう必要がある。具体的には、医療者と行政は各地域の正確な情報収集や統合を率先して行い、感染予防と治療の最善策を常時更新する。マスメディアはその対策を positive に伝え、偏見や社会の混乱を避ける。そして相互に立場を尊重し、それぞれの責務を果たす責務がある。個々には、不安を解消するためにまず心に寄り添い、基本的な感染予防が今後も有効でありつづけることを伝えることが大切である。

(499 字)